

平成21年 12月5日 [土]

13:30～17:30 (13:00 開場・受付)

会場 ● 国際仏教学大学院大学 ホール

* 講演要旨はホームページ <http://www.icabs.ac.jp/frontia/event.html> でご覧いただけます。

講演者 (パネリスト) ●

- 1 **今西順吉** (国際仏教学大学院大学教授・学長)
……『中論』成立の背景
- 2 **落合俊典** (国際仏教学大学院大学教授)
……『日本古写経データベースと漢訳仏典研究』
- 3 **林寺正俊** (国際仏教学大学院大学学術フロンティア研究員)
……『日本古写経の系統分析 —『中阿含経』を例として—』
- 4 **杉本一樹** (正倉院事務所長)
……『正倉院事務所による聖語蔵経巻デジタル化事業について』
- 5 **ジャン＝ノエル・ロベール** (フランス高等研究院教授 / 国際仏教学大学院大学客員教授)
……『『正法華経』「信楽品」から見た竺法護の翻訳の方法』

司会 (コーディネーター) ● **デアヌ・フロリン** (国際仏教学大学院大学教授)

申込先 ● 国際仏教学大学院大学 事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-3-23 電話.03-3434-6953 FAX.03-3578-1205 Email: frontier_20@icabs.ac.jp

仏教研究における日本古写経の意義

平成21年度 公開シンポジウム

—— デジタル化の完成に向けて ——



写真: 金剛寺蔵
『大般若波羅蜜多経』

文部科学省 私立大学学術研究高度化推進事業
国際仏教学大学院大学 学術フロンティア
「奈良平安古写経研究拠点の形成」